

株式会社 西村製作所

多様な分野へ高精度な
金属加工製品を提供する

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



サーボプレス加工機

主な事業内容

順送プレス、マルチフォーミング
による金属加工

主な取引先(納入先)

弱電部品メーカー、二次電池部品メーカー、
化学系商社、電子部品系商社

主な製品

金属部品加工

業務
品質・価格・納期を重視し、
最適な加工法を選択

「西村製作所」は二次電池や半導体、弱電、自動車関連、生活・日用品などさまざまな分野の製品に使用される微細で高精度な金属部品を加工している。鉄や非鉄・各種合金といった加工対象の素材や形状により、精密順送プレスやマルチフォーミングから最適な加工法を選択。顧客が求める「Q（品質）、C（価格）、D（納期）」を重視したもののづくりに努めている。また、同社は「金型内製事業」として、古い金型の補修や図面化を行っており、後継者不足により廃業が増加する金属プレス業界において、同社が金属部品加工を引き継いだ際、その部品の金型のメンテナンスや再作成に円滑な対応ができるよう取組みを進めている。

強み
ノウハウと多様な機械設備で
技術革新を進める

長年培った高度な金属プレス加工のノウハウとともに、多様な機械加工設備を駆使した技術革新が強み。特に素材厚さ0.1mmからの順送プレス加工およびマルチフォーミング加工を得意とする。製品の寸法精度向上のため、順送プレス機にサーボモーターを搭載し、

量産化にも対応。板厚や種類の異なる素材を金型1面でプレス加工する複合加工も評価が高い。マルチフォーミングは上下プレスでは困難な3次元加工を可能にする。またプレス加工に比べ材料ロスが少なく、弱電など高価な素材を用いる製品のトータルコスト削減に貢献している。板材以外にも丸線材や角線材など豊富な加工実績を有する。

人材
育成
金型内製化へ向けた
ものづくり“体制を整備

同社では社員の年齢層が高くなる中、世代交代を踏まえ1年ほど前から若手従業員の採用を始めた。社内の熟練者が日常の作業工程を若手へ伝授しており、併せて最新設備を積極的に導入して現場作業の効率化を進めている。若手メンバーを主体にパート従業員が支援する効率的なもののづくりの仕組みが進行している。

金型関連では、金型の製造について現在は大部分を協力会社へ依頼しているが、今後は自社で製造ができるよう体制を整える予定だ。熟練者が金型の図面化など技術的な部分を担っている一方、技術継承のため大手メーカー出身者を招き、取り扱い技術の指導を徹底して進めている。

社長あいさつ

代表取締役社長
西村 勝美さん

昭和55年、「善良な社会に必要とされる企業」を経営理念に掲げて創業いたしました。創業当時は弱電部品の製造を中心とし、設備の拡充を図る中で新たな分野への挑戦を続けてまいりました。現在では弱電分野をはじめ二次電池や半導体・自動車関連などさまざまな部品をお客様へ供給し続けています。

主な保有設備

- サーボプレス
45—80t アマダ製 3台
- リンクモーションプレス
45—60t アマダ製 4台
- パワープレス
15—45t アマダ製 6台
- マルチフォーミング
200シリーズ 15t 帝人製機 1台
200シリーズ 8t 帝人製機 5台

大阪
01

ISO 9001

住 所／〒571-0015
門真市
三ツ島4-24-16
T E L／072-881-5788
F A X／072-885-6249
創 業／昭和55年5月
設 立／平成元年5月
資本金／1,000万円
従業員／16名



型内タップ加工例



各種金属加工部品


<http://www.nishimura-mfg.co.jp/>